

令和3年度札幌市定山溪自然の村管理業務実施報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

1 統括管理業務

(1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標

基本方針①「雄大な自然と、たくましい開拓精神をもって築かれ、大きく発展し続ける希望のまち札幌。そのランドマークともなる定山溪の豊かな自然環境や風土、歴史を最大限活用した野外教育の拠点施設として、子どもが学び、大人が安らぎ、親子がふれあい、誰もが支えあうことができる、そんな魅力と希望にあふれる施設運営を目指します。」

②「人と人のつながり、人と自然のつながり、自然と未来のつながりを常に意識し、持続可能な社会と未来を創造する人づくりを目指します。」③「第3次札幌市生涯学習構想、札幌市の教育推進の目標及び教育推進の指針など、札幌市の生涯学習の推進に関連する諸施策を踏まえ、札幌市の野外教育施設として、常にサービスの向上と社会的課題の解決に向けての取組を実践します。」を基に業務を遂行した。

当年度は、コロナ禍における感染症対策のため事業の中止や変更を余儀なくされたが、すべての体験活動の見直しや施設開放数制限を行い、利用者が安全安心に活動できるよう感染症対策を講じたうえで自然体験活動機会の創出を目的に事業の充実および体験活動の機会提供として各種事業、施設運営を行った。また、平日利用促進として、市内近郊の教育機関（小学校・中学校）7校の受け入れを行い、定山溪自然の村における教育的効果の高いプログラム提案と自然体験活動の機会を提供できた。石狩森林管理署との業務提携を行っている「定山溪遊々の森」では実践型森林環境教育の推進として森の探検隊、昆虫博士キャンプ、宿泊学習における教科学習を取り入れたプログラムを行い、コロナ禍の状況で直接的な体験が不足する中、今できる最善の学びの機会提供をすることができた。

<重点目標への取り組み>

①施設利用の領域拡大を目指し、平日利用者向けの提供プログラムの開発。

周辺フィールドを最大限活用したアフターコロナ時代を見据えたアドベンチャーツーリズムの要素を取り入れた教育的効果の高いプログラムの提案。

- ・平日利用促進事業として「星空写真撮影講習会」、「アウトドア珈琲講習会」を平日の夜間に企画し、利用者のさらなる利用促進を図った。また、家族・グループ単位で楽しみ、自然体験のきっかけとなるプログラムとして自然植物に関する展示、野鳥観察に関する展示や施設内のフィールドを活かしたクイズラリー、施設周辺に隣接している定山溪遊々の森のスノーシューコースの整備などを行い利用者主体で楽しめるようにした。

②札幌市内の児童に対する自然体験活動プログラムの提供。

札幌市内の幼稚園、保育園、児童養護施設、石狩管内、後志管内の小規模校向けに宿泊学習誘致を推進し持続可能な社会の理解を深める自然体験活動の提案。

- ・昨年度より引き続き、札幌市内小学校4校、また児童会館への自然体験事業「ようこそ児童会館」を実施し、8回176人のこどもたちに定山溪遊々の森をフィールドとし、豊かな自然環境や森の循環について学ぶ自然体験プログラムの提供を行うことができた。

③自然体験活動に対して特別な支援を必要とする児童、団体、家族、グループを対象としたスペシャルニーズキャンプの実践とプログラム開発。

札幌市内及び近郊の特別支援学級、団体、家族、グループを対象として、自然体験活動のプログラムを提供し体験活動機会の平等化を図る。

- ・スペシャルニーズを持つ団体への支援において中学校特別支援学級の日帰り利用の受け入れと継続したモニター調査事業を展開した。札幌市内3校の参加があり、事前に活動に関するアンケートを実施し、不安点や疑問を解消し、利用者へ寄り添ったプログラム作成を行った。参加校からは満足感のある評価と次年度につながる意見をいただいた。

④冬季利用促進を目的とした事業の実施

北海道の長く厳しい冬に、北国ならではの「雪」「寒さ」などの環境を最大限に活用した自然体験活動を「直接体験」の他、SNS、ホームページ活用し提案。

冬季利用に関わるニーズ調査を実施検証し積極的に事業に反映していく。

- ・12～3月の冬季事業として5事業を実施した。冬季キャンプのハウトゥー事業や冬の自然環境を楽しむ事業など多数の参加応募をいただき、満足度の高いプログラムを提供した。
- ・3月上旬に実施した「定山溪ウインター・キャンプ・フェスティバル」は、コロナ禍の状況の中、集合型開催を止め、オンラインで実施した。オンライン上に定山溪ウインターキャンプフェスティバル特設会場を作り、インターネットを通じて自然の村の魅力を伝えることができた。

⑤他団体や企業との連携を強化し、利用促進に繋がる教育的効果の高い事業を多様な手法を用いて実施。

野外教育施設として提供する体験活動について、効果の高いものとするための連携をさらに進める。

- ・札幌市青少年科学館との連携事業「夏休み天体観望会」やアウトドア企業や地元企業と連携した「定山溪ウインター・キャンプ・フェスティバル」などを実施し、施設を知ってもらえるきっかけを提供することができた。札幌市環境局との連携事業である「ヒグマ痕跡探しバスツアー事業」を年3回計画していたがコロナ禍により中止となった。市立札幌藻岩高等学校2学年の学生グループが南区探求MSP授業の中でヒグマとの共存をテーマにポスターを製作し管理センターに掲示するなどの連携を実施した。

⑥野外施設部内の連携強化及び、他セクションの強みを生かした事業連携強化を図る。

財団経営理念の達成に向けた、野外施設部及び財団内の連携による事業展開強化。

- ・「森のようちえん」事業では、市民参画課札幌市環境プラザと協力し、人材交流を含めた事業展開を行った。企画段階から打合せを重ね、両施設が持つ強みを生かしたプログラムを実施できた。都市型のフィールドと定山溪自然の村の自然環境を活かしたフィールドでの遊びをとおして、親子が自然の面白さや大切さに気付くきっかけを提供することができた。
- ・「ようこそ児童会館」事業では、児童会館に通う児童を対象に薪割りやスノーシューを用いた森の探検、焚き火体験など定山溪自然の村のフィールドを活かした野外活動体験の提供を進めた。

(2) 数値目標と実績

※目標値については、新型コロナウイルス感染症の影響があり再設定を行った。

①利用者総数

令和3年度目標 11,800人（年度計画当初15,000人）

令和3年度実績 12,056人

②事業プログラム参加者総数

令和3年度目標 1,800人（年度計画当初2,000人）

令和3年度実績 3,121人（うち1,048人はHP定山溪ウインター・キャンプ・フェスティバル特設会場閲覧数）

③参加者アンケートにおける満足度

令和3年度目標 98%

令和3年度実績 99%

④冬期野外活動の提案（下期利用率）

令和3年度目標 31%

令和3年度実績 31%

⑤セルフモニタリング調査（実施件数）

令和3年度目標 400件

令和3年度実績 400件

⑥実践型森林環境教育の推進（参加人数）

令和3年度目標 500人（年度計画当初550人）

令和3年度実績 730人

⑦貸室業務（利用料金収入）

令和3年度目標 10,836千円（年度計画当初15,766円）

令和3年度実績 10,063千円

(3) 平等利用の確保に向けた取組項目

施設の利用申込に際し、年齢、性別による対応の格差を生じさせないように、公平で平等な市民対応を原則として、個別の要望・事例にも誠実に耳を傾け、一人ひとりの利用者に向き合う姿勢を維持することに努めた。また、事業においては、定員を超える応募があった場合、抽選を実施し参加者を決定した。コロナ禍における施設使用制限の中でも、番号札順に受付を行うなど、平等性を保つ事に努めた。

(4) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進

各種事業をとおして市民の地球温暖化防止への「意識」を「行動」に変革できるよう努めた。また、エネルギー管理標準に基づき、電気・ガス・水道・燃料の使用、塵芥処理量の削減など環境へ配慮した施設運営を行ったとともに、エネルギー消費量を継続的に記録し、エネルギー消費削減意識の醸成を促した。

(5) 管理運営組織の確立

統括管理者に財団課長職を設置し、財団本部と連携しながら業務を遂行した。また、自然体験活動に関する専門的な指導、施設管理に伴う技術など、各業務において専門性を要する業務が多いことから、業務分担により職員間の業務引継ぎを行うとともに、日常的に職員研修を実施した。財団では、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の労働関係法令を遵守するとともに、厚生労働省ストレスチェック制度の導入及び職員のためのメンタルヘルス相談窓口を開設し（産業カウンセラー）、雇用環境維持に努めた。

(6) 管理水準の維持向上に向けた取組

財団総合ネットワークシステム及び、定例的な職員会議、担当別会議による組織内の情報共有、更新を図った。

また、利用者アンケート等から事業、管理における現状の把握と分析を行い、改善に向けた具体的な取組を策定し、利用者満足度の高い施設運営に取り組んだ。また、モニタリング調査により、より具体的なニーズや野外活動に対する意識調査を行い、今後の運営につなげる検討を行った。

(7) 第三者に対する委託業務等の管理

各業務とも、毎月末に業務完了届を提出させ、業務検査を実施。また、日常業務においては定期的に履行確認を行い、適正に業務が遂行されているか確認した。また、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団を利することとならないよう、第三者委託及び物品購入等において、暴力団及び暴力団関係事業者と契約しないよう積極的に取り組んだ。

(8) 札幌市及び関係機関との連絡調整

「札幌市定山溪自然の村運営協議会」を令和3年6月・令和4年1月に2回開催した。新型コロナウイルス感染予防対策として委員の安全を最優先に考え、担当部局と協議の上書面開催とした。新型コロナウイルス感染症対策や事業の運営方法についてご意見や評価をいただいた。さらに各委員からの助言、励ましの言葉を頂戴した。また、管理運営にあたっては、関係機関との協力体制を確立し、適宜連絡調整を行った。

(9) 財務

運営資金は財団事務局で集中管理しており、電算ネットワークシステムにより、適正かつ迅速に経理処理（月次・年次決算等）を実施した。事業における参加料等は概ね収入当日または翌日には財団指定金融機関口座への預け入れを完了させ、資金管理を徹底して事故防止に努めた。また、他課担当者による内部監査を実施し、運営状況に不備がないかの第三者確認を行った。

(10) 苦情対応

市民からよせられたすべての要望・苦情等の他、施設利用後のアンケート調査内容を真摯に受け止め、解決に向け迅速かつ誠意ある対応をするとともに、スタッフ間で情報を共有し再発を防ぐよう努めた。

(11) 記録・モニタリング・報告・評価について

年間の事業計画書をはじめとする提出書類や業務日誌等の日常の記録書類、及び統計資料等、何れも当初の計画どおり確実にデータとして保存した。また、札幌市の業務検査等に対し、誠実に対応した。利用に関してのアンケート調査を継続的に行い、利用満足度を測定するとともに、意見、要望の把握に努めた。

2 施設・設備等の維持管理に関する業務

(1) 総括的事項

①安全・危機管理対策

令和2年3月27日にアプローチ園路の落石発生に伴い、アプローチ園路の徒歩通行を禁止し、徒歩の方は入口ゲートから管理センター間のアプローチ園路を公用車送迎対応とし、利用者の安全確保に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、札幌市からの要請に従い令和3年5月4日から令和3年7月11日および令和3年8月29日から令和3年9月30日の期間は臨時休業とした。昨年度に引き続き下記のとおり、安全安心に利用していただけるよう、下記の対策をとり施設運営を行った。

また、集合型事業の実施は難しいため、ホームページを活用したweb参加型事業を実施するなど、コロナ禍での新しい事業の実施形式について検討を行った。

【施設管理】

- ・「北海道スタイル」安心宣言のホームページ周知および館内掲示
- ・施設内消毒液設置および清掃時の消毒作業の実施
- ・職員のマスク、手袋の着用
- ・利用可能貸室数の制限や、コテージの対面には他グループが入らない措置、テントハウステントサイトにおいては、十分に間隔を開けてグループ配置を行うよう配慮した。
- ・チェックイン時に受付番号を配布し、代表者が順番に受付を行うシステムを導入し、管理

センターが密にならないよう対策した。

- ・管理センター窓口における飛沫感染予防シートの設置
- ・感染症対策が講じられない物品の貸し出し制限
- ・夏季野外炊事棟洗い場および冬季調理室の使用可能数の制限および感染予防の徹底
- ・コインシャワー室の利用停止
- ・ふれあいハウス図書コーナーの利用停止

【事業運営】

- ・事業参加定員を 50%に削減
- ・ボランティア活動の中止
- ・混食を防ぐために調理活動の制限（家族、グループ単位での活動とした）
- ・家族単位など同一グループを軸としたプログラムに変更
- ・宿泊型事業を日帰りに変更
- ・同一事業を複数日設定およびプログラム時間の変更
- ・ホームページを活用した WEB 参加型事業の実施

②宿直業務

宿泊利用があった場合は、不備なく職員を配置した。また、巡回により村内の状況を把握し、急病や不測の事態に対しては利用者の納得が得られるよう誠意を持って対応した。

③連絡体制確保

各関係機関との連絡体制を整備した。

④保険加入

施設賠償保険をはじめ、事業等においてそれぞれに適した保険に加入した。

(2) 施設、設備等の維持管理

①清掃業務

村内の建物及び主要箇所の日常清掃、ワックス掛けやガラス清掃等の定期清掃は専門の清掃会社に委託し実施した。また、巡回点検により臭いや突発的な汚れに対処し、衛生管理に努めるとともに、利用者に対しても原状回復への協力を求めた。

ア 日常清掃業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）

イ 定期清掃業務

（委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和 3 年 6 月 17 日、11 月 17 日）

ウ 館内外の日常点検（日常点検として指定管理者が実施）

エ 塵芥処理業務

塵芥処理は、専門処理事業者に委託して実施した。また、利用申込受付時点でゴミの持ち帰りを呼びかけ協力を求めるとともに環境保全を啓発しゴミの少量化を図った。（委託業者は（一財）札幌市環境事業公社、実施期間は通年）

②警備業務

夜間警備や駐車場警備、年末年始を含めた休業日等の警備など主たる警備業務は専門の警備会社に委託し実施した。また、事故や自然災害など不測の事態に対しては、緊急連絡体制を整備、その対応に備えた。

ア 警備業務

I 警備業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）

II 駐車場整理・夜間警備業務

（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は令和 3 年 5 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日）

イ 火災・事故の防止（日常点検として指定管理者が実施）

ウ 火災・事故等不慮の事故が発生した時の緊急対応（緊急連絡網による）

③施設及び設備の保守点検業務

設備点検業務については以下の項目毎に実施した。自家用電気工作物保守点検など専門技術を要するものについては、専門業者に委託して実施し、それ以外は、指定管理者が日常業務として実施した。

ア 電気設備保守業務

I 電気保安業務（日常点検として指定管理者が実施した）

II 館内外放送設備保守管理（ ” ” ）

III 館内外照明設備保守管理（ ” ” ）

IV 自家用電気工作物保守点検業務

（委託業者は山口電気管理事務所、定期点検を毎月1回、年次点検実施日は令和3年10月21日）

イ 機械設備保守業務

I 給湯設備保守点検（日常点検として指定管理者が実施した）

II 換気設備保守点検（ ” ” ）

III 給排水設備保守点検（ ” ” ）

IV 受水槽清掃、11項目の水質検査、汚水槽清掃、汚水ポンプ清掃・点検
（委託業者はパイプ技研工業株式会社で、実施日は令和3年6月10日）

V 受水槽外観、給排水ポンプ、遊離残留塩素測定 of 各法定点検
（毎週金曜日に指定管理者が実施）

VII 給湯ボイラー設備保守点検業務

（委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和3年7月5日、令和3年11月14日、令和4年2月15日）

ウ 消防設備保守業務

消防設備点検については専門的技術を要することから専門業者に委託（ヤシマ商会実施日は令和3年10月21日、令和4年3月17日）し、保守点検を実施した。

エ 施設保守業務

各施設が正常に機能していることの確認は、基本的に巡回点検によって実施した。また、利用者や清掃員等からの具体的な機能低下の報告に対し、迅速に対処した。主な施設のほか付帯施設を含めた総合的な保守点検については、指定管理者の巡回点検により実施し施設の細部に至るまで状況把握に努めた。

オ 修繕業務

各施設、施設設備については利用者が安全に使用できる環境を整備するため、また、運営において施設管理上必要な物については、迅速に修繕対応を行い、不備のないように努めた。

（一部修繕内容について以下のとおり。）

- ・調理室換気扇温度ヒューズ交換
- ・コテージ横イベント盤修繕
- ・除雪機整備修理
- ・ホイールローダー修繕
- ・コテージストーブ修繕
- ・ふれあいハウス女子トイレ蛇口および多目的トイレ配管修繕
- ・管理センター給湯器修繕
- ・管理センター照明およびトイレ棟前室照明修繕

・テントハウス硝子修繕

④外溝緑地管理業務

ア 植生育成管理業務

植生の管理については、冬期間の降雪時期を除き、その主たる業務に関しては、専門業者に委託し実施した。また、簡易的な剪定や移植等については指定管理者が実施した。

(委託業者は株式会社札幌リゾート開発公社、実施期間は令和3年6月1日～10月31日)

イ 防虫消毒業務

時期的に大量発生し、不快感や直接害を及ぼすカメムシやアリなどについては、忌避剤や防虫剤を常備し、随時対処した。また人体ショック症状等の危険を伴うスズメバチに対しては、村の外周に捕獲器を配置し村内への侵入防止に努めた。

⑤除雪業務

駐車場及び村内主要道路については、専門業者に委託して実施した。また、各施設周りや主要活動場所等については指定管理者が除雪し、屋根の雪下ろし、各施設の雪庇落とし及び落雪危険箇所の立ち入り制限なども併せて実施した。(委託業者は中定建設工業株式会社、期間は令和3年12月1日～令和4年3月31日)

⑥その他施設の維持に必要な業務

各種備品の保守点検や公用車の維持管理及びテントサイトの芝生管理等は、必要に応じて指定管理者が実施した。また、施設の雪や氷の影響に対する補強及び風や低温に対する防護など越冬対策を確実に実施した。備品管理については確認、修繕を行い、適正に使用できる状態を保持した。

ア 備品管理業務 (日常点検として指定管理者が実施)

イ 公用車の維持管理 (法定点検、オイル交換、洗車等の実施)

ウ 施設の衣替え業務 (春季、秋季に計画どおり実施)

エ テントサイトメンテナンス業務 (芝の手入れ等を実施)

オ 産業廃棄物の処理

カ 自然の村内外の危険木(倒木、支障木)処理

⑦防災業務

年に2回消防訓練を行った。うち一回は実際の火災を想定したシミュレーションについて専門講師から指導を受ける他、テスト用消火器を使用した消火訓練を行い緊急事態に備えた。

⑧野生生物対策業務

春の雪解けと共に電気柵を設置し、ヒグマの活動が収束する冬までの間、その機能を維持するための点検及び電圧の調整を行った。また自然の村活動エリアの巡回監視コースを週3回程度及び小学校夏季休業期間は毎日巡回パトロールを実施し、利用者の安全を確保した。

また、関係研修会への参加により職員のスキルアップを行った。

3 事業の計画及び実施に関する業務

(1) 自然体験活動のため、自然の村の施設を使用させ、必要な指導助言を行う業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
教育機関 宿泊活動支援事業	札幌近郊の小学校宿泊学習の受け入れを行い、森林観察やまき割り体験、炊事体験などのプログラム提供を行った。各学校のニーズに応え、随時実施した。その他3校の申し込みがあったが、新型コロナウイルスの影響でキャンセルとなった。	小学校 4校 188人
団体指導事業	各種活動団体からの指導依頼に対応し、野外活動、環境教育、リスクマネジメント等に係る指導事業として、薪割り、焚き火指導、定山溪遊々の森でのスノーシューガイドを行った。	3団体 56人
森の工作会	自然素材を用いた創作活動をとおして、自然に対する理解を深める機会を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
飯ごう・羽釜ご飯体験会	・キャンプ活動に必要な基本的技術や火の扱い方を習得する機会を提供した。 ・手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	58人
石窯料理体験	・石窯を使用し、ピザ等のオープン料理を体験することによりグループでの共同料理を楽しむ機会を提供した。 ・手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	484人
ドラム缶風呂体験	日常では経験することの難しいドラム缶を用いた風呂の体験を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
森の観察会	周辺フィールドを散策し、樹木、野草、水辺の生物等を観察しながら森歩きを楽しむ機会を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
銀河の会	星空や天体の観望を行い、市民の学習機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
キャンプファイヤー	週末および夏休み期間に全宿泊者対象の全体交流の場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ナイトハイク	夜行性の動物や夜の森の様子を知ることがを目的とし、夜間の特性を生かした自然体験の機会を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
わくわくラリー	村内にクイズラリーを設置し、野生生物や森に関するクイズを出題した。	430人
遊歩道クイズ	アプローチ園路での落石があり、徒歩通行を中止としているため中止とした。	中止

(2) 自然体験活動の普及振興に関する業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
フルーツ・スイーツ倶楽部	北方自然教育園で収穫したりんごを使い、定山溪自然の村の石窯で「タルト・タタン」作りを実施した。 協力: 札幌市北方自然教育園 講師: 小林 純子氏 (コットンチュールップ代表)	3組 9人
スペシャルニーズ キャンプ	中学校特別支援学級の日帰り利用の受け入れと継続したモニター調査事業を展開した。不安点や疑問を解消し、利用者へ寄り添ったプログラム作成を行った。	中学校 3校 49人

森の図書館	自然の中で本に親しむ機会を提供し、市民に対して新たな読書環境の提案を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
森の探検隊	森林管理署と事業協定を締結している「定山溪遊々の森」において森林環境教育プログラムを体験し、森からの学びを身近な自然や地域環境への理解につなげる機会を提供した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止とした。	2回 8組25人 ※当初予定 4回 各回5組
昆虫博士キャンプ	小学生を含む親子を対象とし、昆虫とのふれあいをとおし身近な地域環境に目を向けるきっかけとなる機会を提供した。 講師:小田桐 亮氏(倶知安風土館学芸員)	5回 25組82人
昆虫博士中学生	中学生を対象に、昆虫をとおした自然体験の提供を行い同じ分野に興味のある仲間との出会いや将来について考える事業を実施した。 講師:大原 昌宏氏(北海道大学総合博物館教授)	1回 9人
社会的課題解決事業	自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ヴィレッジ・クリスマス	ボランティア主体の事業であるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型事業は中止とし、職員が室内装飾のみ実施した。	随時
インターンシップ	教育機関と連携し、施設管理や主催事業の運営サポートなどに関わっていただき、学生の実習支援を行った。 一部、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン型の実施となった。	2回 4名
ボランティアスタッフ育成	各種自然体験活動・主催事業をサポートするボランティアの登録をしていただいたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業については中止とした。	登録11人 育成事業 中止
親子で『コソ練』キャンプ	・上半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型事業を中止し、各回1組限定のオーダー型プログラムを実施した。 ・下半期は冬キャンプ未経験の親子を対象に、キャンプに必要な道具や技術の練習の場を集合型事業で実施した。	2回 4組13人
ようこそファミリーキャンプ	これからキャンプに挑戦しようという家族を対象に、宿泊キャンプの体験を行える事業を実施した。9月実施予定回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	1回 3組13名 ※当初予定 2回
森のようちえん	・野外活動を取り入れた子育て支援の場とし、宿泊型キャンプを体験する機会を提供した。 ・札幌市環境プラザと協力し、プログラムの企画立案と運営を共同実施した。	2回 5組18人 ※定山溪 自然の村 実施分
親子で冬キャン!!	冬キャンプに関心のある親子を対象に、雪上テント設営やテント泊体験など家族単位の冬期野外活動の促進を図る機会とした。	1回 2組6人
定山溪でストレッチと森歩き	地域住民や定山溪地区観光客を対象に、自然散策およびストレッチ運動をし、地域の魅力発見と健康維持増進につなげる機会を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
提案型団体誘致事業	・「ようこそ児童会館」の児童向けプログラムをもとに自然体験プログラムを提案した。 ・石狩管内の小学校を中心に宿泊学習資料を送付し積極的な誘致を行う準備を進めた。	随時
定山溪スノーシューツアー	1日1組限定のプライベートツアー型として、参加者それぞれ目的やニーズ、年齢層に合わせてルートの選定やプログラムの提供を行った。	4回 13人

(3) 自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
気づきのメッセージ	メッセージボードを設置し、施設で過ごす上での利用者の気づきや発見などの情報をシェアし交流促進を図ることのできる空間作りに努めた。	121 人
アウトドアクッキング	Instagram を活用し、石窯料理体験などアウトドアクッキングの魅力伝える写真や動画の配信を実施した。	随時

(4) その他自然の村の設置目的を達成するために必要な業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
定山溪ウインター・キャンプ・フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況の中、集合型開催をやめホームページ上に特設会場を作り、施設からの情報発信と利用者からの活動の様子を双方方向で情報交流を行い、自然の村の魅力伝えた。 ・過去の事業に参加していただいた企業と相互リンクを行い、アウトドア企業や地元企業との連携を図る機会とした。 	1,048 人 (特設会場閲覧数)
他施設・団体連携事業	<p>他施設・団体と連携し、共同企画事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ヒグマ痕跡探しバスツアー (主催:札幌市環境局) ・全3回の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため主催者から中止の申出があった。 ②夏休み天体観望会 (連携:札幌市青少年科学館) ③市立札幌藻岩高等学校 2 学年 総合的な探求の時間『南区探求 MSP』 (主催:市立札幌藻岩高等学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ①中止 ②1 回 92 人 ③1 回 15 人
平日利用促進事業	<p>専門的なテーマに精通した講師を招き、キャンプ活動の幅を広げる機会を提供した。</p> <p>講師:横山 明日香氏(写真家)「星空写真撮影講習会」 平野 一政氏(Café Hino 店主) 「アウトドア珈琲講習会」</p>	4 回 41 人
アウトドアプレミアムクッキング	<p>野外料理に精通した講師を招致し、専門的な野外料理体験の提供を行った。</p> <p>講師:榊 幸治氏 (有)ユーコマース代表、ジャパンBBQカレッジ代表)</p>	1 回 11 人
広報プレスリリース	<ul style="list-style-type: none"> ・公的機関、民間報道機関等への情報提供を行った。 ・ホームページ、SNS 等の情報発信ツールを活用し自然や施設等の情報提供を行った。SNS を活用しての情報発信においては、Facebook・Instagram などを活用し、事業情報だけでは施設情報や四季情報を配信し施設 PR を行った。 	随時
定山溪遊々の森再整備計画	<p>「定山溪遊々の森」の保全に関わる再整備計画を石狩森林管理署と協働で検討を進めているが、コロナ禍の影響により集合型の事業展開等が困難のため休止してる。</p>	中止
ウィズコロナ対策関連事業	<p>すべての事業において、新型コロナウイルス感染症対策をしながら施設運営してきたノウハウを基に、安心して事業に参加していただけるよう対策を行った。</p>	随時
調査・研究	<p>モニタリング調査(400 件)や利用者アンケート(通年)を実施し、社会のニーズを捉え、活用できるように分析を行った。モニタリングについては昨今の冬季キャンプ流行を鑑み、冬季に特化した利用者ニーズの把握のため、冬季期間のみで実施した。また、新たな試みとして紙面と合わせて web での実施を行った。</p>	モニタリング調査 400 件 アンケート 随時

※コロナ感染症の状況により定員等の設定に関しては、所管局と適宜協議を行い実施した。

(5) 自主事業の実施

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
ようこそ児童会館	・児童会館を利用する児童を対象に、野外活動の機会を提供した。薪割り体験や森歩き、焚き火体験などのプログラムを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 2 回が中止となった。	8 回 176 人 ※当初予定 10 回
清涼飲料水等の販売	管理センター前及びふれあいハウス内に自動販売機を設置し、清涼飲料水等の販売を実施した。	通年

4 施設の利用等に関する業務（具体的な利用状況等）

(1) 令和 3 年度施設利用状況

資料 1 のとおり

(2) 令和 3 年度利用料金収入状況

資料 2 のとおり

(3) 令和 3 年度利用料金収入算出表

資料 3 のとおり

5 管理業務に付随する業務について

ホームページについては、年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての人が、ホームページで提供されている情報に問題なくアクセスでき、誰もが平等に利用することを可能とするとともに、日本工業規格 JIS X 8341-3 : 2016 適合レベル AA に準拠し、ウェブアクセシビリティを確保し運用を行った。

6 札幌市内の企業等の活用について

第三者委託および備品・消耗品の購入、リーフレットの印刷業務など内容にあわせて、専門技術、資格及び設備等を有する札幌市内の企業を積極的に活用した。

7 その他

(1) インターネットを活用した web 予約システムのテントサイトでの運用開始

定山溪自然の村のホームページから貸室の予約ができる「web 予約システム」を普通テントサイトおよび連結テントサイトにおいて運用を開始した。

(2) 広報活動等

① ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用

ホームページ内においてソーシャルネットワークサービスを展開し、Facebook および Instagram にて施設案内や事業案内を発信し、利用者のニーズや目的に合った情報提供を行った。

② 情報提供、広報掲載

公的機関、民間報道機関等への情報提供を行い、雑誌や書籍の紙面・インターネットサイトなどに広報掲載を行った。

③ 提供物品についての検討

利用者の多様なニーズに対応するため、アンケートおよびモニタリングを調査をもとに、提供物品についての検討を行い、物品改定および料金についての見直しを行った。

8 令和 3 年度利用者アンケート集計

資料 4 令和 3 年度利用者アンケート集計および資料 5 令和 3 年度モニタリング集計のとおり

9 収支決算
別紙2のとおり

令和3年度 施設利用状況

令和3年度(2021年度)

(1)利用者別利用状況

札幌市定山溪自然の村

項目	利用者 親子	学 校					青少年 団体	指導者 団体	官庁内	その他	主催事業	計
		幼稚園等	小学校 中学校	高校	大学 専門学校	盲聾養護 学校						
累 計	団体数	3,274	1	8	0	0	0	0	0	6	29	3,318
	実利用者数	11,014	14	335	0	0	0	0	0	126	425	11,914
	延利用者数	20,597	14	521	0	0	0	0	0	143	452	21,727

※累計＝令和3年4月からの累計

(2) 宿泊別団体数 (3) 施設別利用人数

泊数	団体数		累 計
1泊	2,550	コテージ	4,481
2泊	134	テントハウス	3,793
3泊	15	テントサイト普通	2,854
4泊	2	テントサイト特別	786

(4) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿 泊	団体数	303	41	0	293	438	0	314	330	255	299	276	2,871
	実利用者数	1,011	231	0	1,139	1,875	0	1,231	949	743	998	741	9,843
	延利用者数	1,989	495	0	2,196	3,832	0	2,394	1,955	1,497	1,979	1,489	19,656
日 帰 り	団体数	71	0	0	35	47	0	58	66	34	42	51	447
	実利用者数	237	0	0	160	273	0	342	301	149	282	192	2,071
見学・下見など	12	7	0	30	32	0	11	5	21	0	15	9	142

*見学・下見などの人数は利用人数に含まない

(5) 利用形態別利用状況

	家族・小グループ				学校等団体				グループ数計			実利用者数計			延利用者数	下見・見学等
	グループ数		実利用者数		グループ数		実利用者数									
	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	合計	宿泊	日帰	合計		
累 計	2,862	412	9,613	1,401	9	35	230	670	2,871	447	3,318	9,843	2,071	11,914	21,727	142

*延利用者数＝前日からの宿泊人数＋当日の利用人数

*見学・下見等の人数は利用者数には含まない

*累計＝令和3年4月からの累計

(6) 施設別利用率

	コテージ(20)			テントハウス(10)			テントサイト普通(22)			テントサイト特別(4)			全体(56)	
	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数	使用率									
累 計	1,215	73	21.5%	1,136	23	38.8%	1,645	109	26.7%	594	0	49.7%	4,795	28.6%

*累計＝令和3年4月からの累計

令和3年度 利用料金収入状況

令和3年度(2021年度)
札幌市定山溪自然の村

[現金収入-施設別]

		累 計	
		施設数	現金
コテージ		1,288	4,956,740
テントハウス		1,159	3,838,810
テントサイト	普通	1,754	759,690
	特別	594	251,720
累 計		4,795	9,806,960

[現金収入-利用形態別]

	宿 泊		日 帰 り		延 長		合 計	
	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金
累 計	4,038	9,358,040	757	440,620		8,300	4,795	9,806,960

[後納分]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	76,140	24,200	0	100,340

[取消料]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	147,500	11,590		159,090

[施設利用料金総合計]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	9,581,680	476,410	8,300	10,066,390

[減免額 *参考]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	404,620	47,630	0	452,250

令和3年度 利用料金収入算出表

令和3年度(2021年度)
札幌市定山溪自然の村

		コテージ		テントハウス		テントサイト				合 計		現金収入	延長収入額	後納額	取消料	合 計	減免額
		宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)	普通		特別		施設数	施設 使用料						
						宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)								
4月	一般利用	122	26	110	12	128	49	54	18	519	1,157,300	1,156,320	980	0	13,970	1,171,270	5,670
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	122	26	110	12	128	49	54	18	519	1,157,300	1,156,320	980	0	13,970	1,171,270	5,670
5月	一般利用	28	0	17	0	11	0	6	0	62	199,940	199,820	120	0	7,140	207,080	6,580
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	28	0	17	0	11	0	6	0	62	199,940	199,820	120	0	7,140	207,080	6,580
6月	一般利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	一般利用	102	6	88	18	171	13	60	10	468	961,290	961,210	80	0	2,000	963,290	15,500
	団体利用	0	0	2	0	6	19	0	0	27	12,330	12,330	0	0	0	12,330	0
	計	102	6	90	18	177	32	60	10	495	973,620	973,540	80	0	2,000	975,620	15,500
8月	一般利用	181	11	146	16	243	25	94	6	722	1,580,530	1,578,220	2,310	0	29,310	1,609,840	49,140
	団体利用	2	0	0	8	3	8	0	0	21	20,360	20,360	0	0	0	20,360	3,310
	計	183	11	146	24	246	33	94	6	743	1,600,890	1,598,580	2,310	0	29,310	1,630,200	52,450
9月	一般利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170	170	0
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170	170	0
10月	一般利用	106	12	126	15	155	30	46	16	506	1,057,900	1,057,460	440	0	12,700	1,070,600	79,160
	団体利用	44	16	0	0	0	28	0	0	88	104,320	16,980	0	87,340	0	104,320	132,840
	計	150	28	126	15	155	58	46	16	594	1,162,220	1,074,440	440	87,340	12,700	1,174,920	212,000
11月	一般利用	128	22	111	10	157	32	50	24	534	1,001,710	1,001,670	40	0	27,440	1,029,150	63,100
	団体利用	0	0	0	0	0	19	0	0	19	24,110	24,110	0	0	0	24,110	1,870
	計	128	22	111	10	157	51	50	24	553	1,025,820	1,025,780	40	0	27,440	1,053,260	64,970
12月	一般利用	92	12	87	6	124	12	54	16	403	794,290	792,480	1,810	0	26,910	821,200	15,420
	団体利用	0	0	0	3	0	12	0	0	15	7,800	7,800	0	0	0	7,800	0
	計	92	12	87	9	124	24	54	16	418	802,090	800,280	1,810	0	26,910	829,000	15,420
1月	一般利用	116	19	112	15	142	22	40	2	468	1,070,820	1,057,570	250	13,000	23,870	1,094,690	35,360
	団体利用	4	0	0	10	1	5	0	0	20	22,800	22,800	0	0	0	22,800	0
	計	120	19	112	25	143	27	40	2	488	1,093,620	1,080,370	250	13,000	23,870	1,117,490	35,360
2月	一般利用	89	19	108	10	123	31	36	16	432	885,790	884,590	1,200	0	6,840	892,630	8,060
	団体利用	1	0	0	0	0	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
	計	90	19	108	10	123	39	36	16	441	885,790	884,590	1,200	0	6,840	892,630	8,060
3月	一般利用	115	9	118	11	147	30	32	14	476	1,006,010	1,004,940	1,070	0	8,740	1,014,750	36,240
	団体利用	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
	計	115	15	118	11	147	30	32	14	482	1,006,010	1,004,940	1,070	0	8,740	1,014,750	36,240
合 計		1,130	158	1,025	134	1,411	343	472	122	4,795	9,907,300	9,798,660	8,300	100,340	159,090	10,066,390	452,250

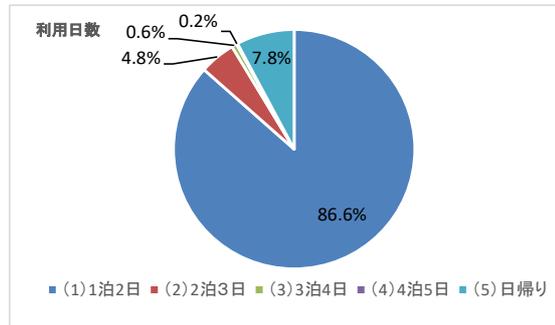
札幌市定山溪自然の村 アンケート(宿泊利用者用)集計

アンケート実施期間: 令和3年4月1日～令和4年3月31日

利用件数(サンプル数):	3,318 件
アンケート回収数 :	1,849 件
アンケート回収率 :	56%

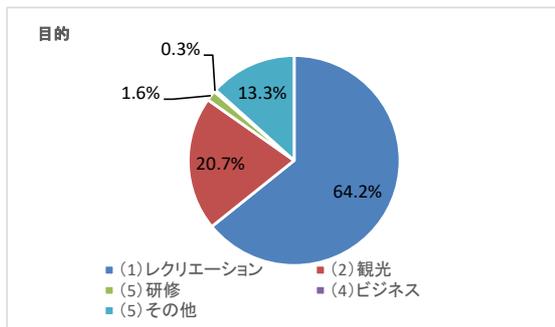
●ご利用日

利用日数	件数	割合
(1)1泊2日	1,601	86.6%
(2)2泊3日	89	4.8%
(3)3泊4日	12	0.6%
(4)4泊5日	3	0.2%
(5)日帰り	144	7.8%
総計	1,849	



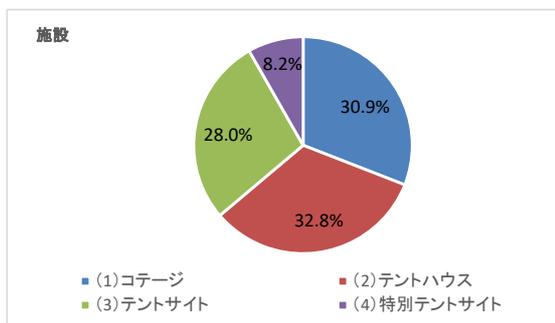
●ご利用目的

目的	件数	割合
(1)レクリエーション	1,142	64.2%
(2)観光	368	20.7%
(5)研修	28	1.6%
(4)ビジネス	6	0.3%
(5)その他	236	13.3%
総計	1,780	



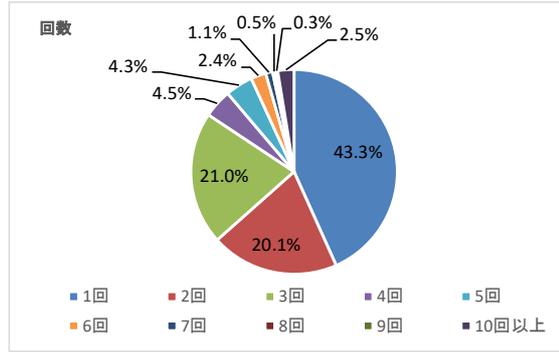
●利用施設

Q-1	件数	割合
(1)コテージ	570	30.9%
(2)テントハウス	605	32.8%
(3)テントサイト	516	28.0%
(4)特別テントサイト	151	8.2%
総計	1,842	



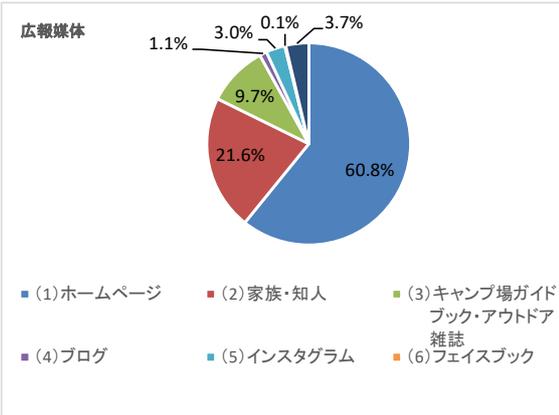
●ご利用回数

利用回数	件数	割合
1回	783	43.3%
2回	363	20.1%
3回	379	21.0%
4回	81	4.5%
5回	78	4.3%
6回	43	2.4%
7回	19	1.1%
8回	9	0.5%
9回	6	0.3%
10回以上	46	2.5%
総計	1,807	



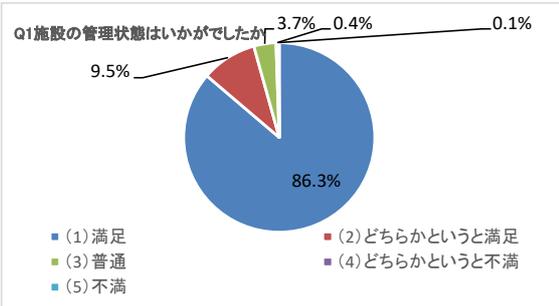
●自然の村のことは何によって知りましたか
※前項にて「1」を回答したもののみ

広報媒体	件数	割合
(1) ホームページ	482	60.8%
(2) 家族・知人	171	21.6%
(3) キャンプ場ガイドブック・アウトドア雑誌	77	9.7%
(4) ブログ	9	1.1%
(5) インスタグラム	24	3.0%
(6) フェイスブック	1	0.1%
(7) その他	29	3.7%
総計	793	



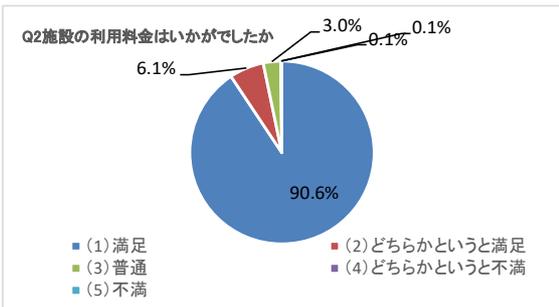
Q-1 施設の「管理状態」はいかがでしたか

Q-1	件数	割合
(1) 満足	1,570	86.3%
(2) どちらかというと満足	172	9.5%
(3) 普通	68	3.7%
(4) どちらかというと不満	8	0.4%
(5) 不満	2	0.1%
総計	1,820	



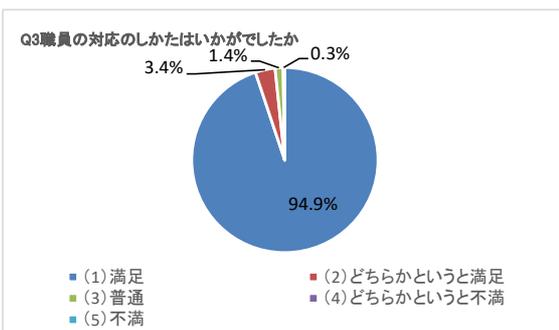
Q-2 施設の料金はいかがでしたか。

Q-2	件数	割合
(1) 満足	1,645	90.6%
(2) どちらかというと満足	111	6.1%
(3) 普通	55	3.0%
(4) どちらかというと不満	2	0.1%
(5) 不満	2	0.1%
総計	1,815	



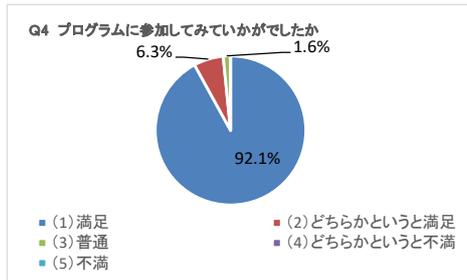
Q-3 職員の対応のしかたはいかがでしたか

Q-3	件数	割合
(1) 満足	1,583	94.9%
(2) どちらかというと満足	57	3.4%
(3) 普通	23	1.4%
(4) どちらかというと不満	5	0.3%
(5) 不満	0	0.0%
総計	1,668	



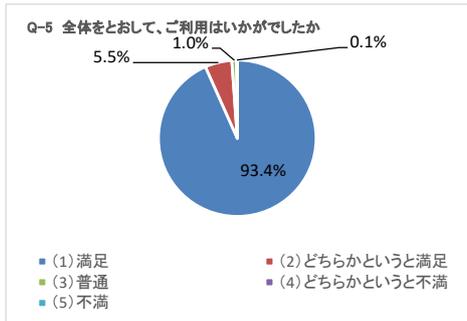
Q-4 「プログラム」に参加してみたいかがでしたか

Q-4	件数	割合
(1) 満足	58	92.1%
(2) どちらかという満足	4	6.3%
(3) 普通	1	1.6%
(4) どちらかという不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
総計	63	



Q-5 全体をとおして、ご利用はいかがでしたか

Q-5	件数	割合
(1) 満足	1,528	93.4%
(2) どちらかという満足	90	5.5%
(3) 普通	16	1.0%
(4) どちらかという不満	2	0.1%
(5) 不満	0	0.0%
総計	1,636	



Q-6 定山溪自然の村では各種活動プログラムを用意しています。今回あなたが参加したものはどれですか。また、実際に参加してみたいかがでしたか。

①森の観察会

森の観察会	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

②森の工作会

森の工作会	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

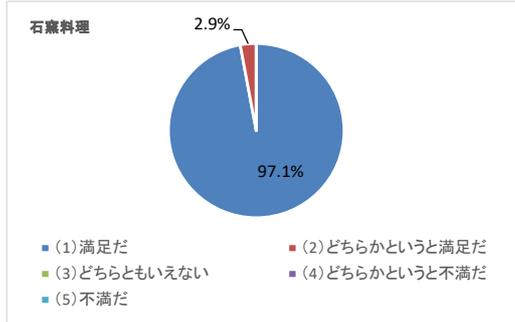
③ハンゴウ・羽釜ご飯体験

ハンゴウ・羽釜ご飯体験	件数	割合
(1) 満足だ	6	100.0%
(2) どちらかという満足だ	0	0.0%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	6	



④石窯料理体験

石窯料理体験	件数	割合
(1) 満足だ	33	97.1%
(2) どちらかという満足だ	1	2.9%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	34	



⑤ドラム缶風呂

ドラム缶風呂	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

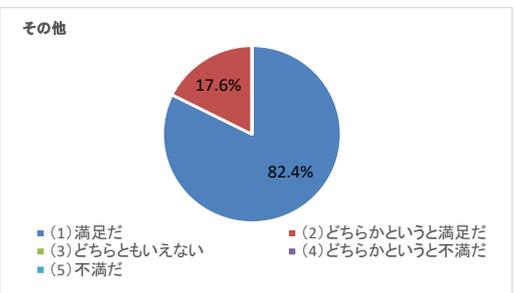
⑥夜プログラム

夜プログラム	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかという満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかという不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

⑦その他

その他	件数	割合
(1) 満足だ	14	82.4%
(2) どちらかという満足だ	3	17.6%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかという不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	17	



※「無回答」については件数に含んでいません。

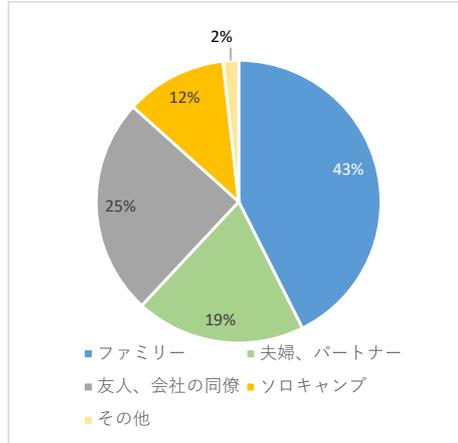
令和3年度札幌市定山溪自然の村モニタリング調査

モニタリング実施期間：令和4年1月4日～令和4年3月31日
 配布数400件 回収数400件 回収率100%

※単数回答は無回答を除いた有効回答数Nをもとに円グラフにて示す。
 ※複数回答は全体が100%を超えるため、横棒グラフにて示す。

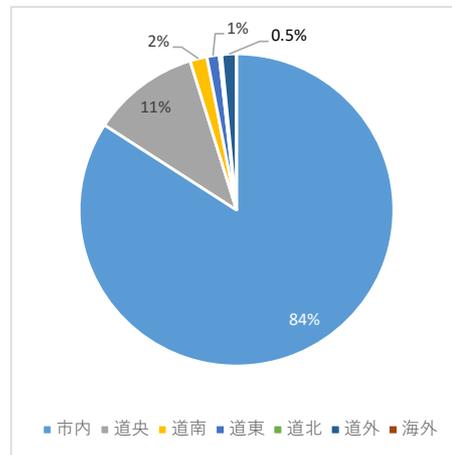
1 キャンプの同行者 N=400：単数回答（件）

	全体	399
ファミリー	170	43%
夫婦、パートナー	77	19%
友人、会社の同僚	99	25%
ソロキャンプ	46	12%
その他	7	2%



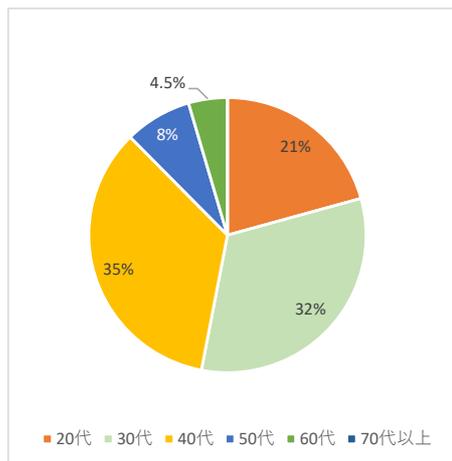
2 利用者の居住地 N=400：単数回答（件）

	全体	398
市内	335	84%
道央	44	11%
道南	7	2%
道東	5	1%
道北	1	0%
道外	6	1.5%
海外	0	0.0%



3 活動中心者の年齢 N=400：単数回答（件）

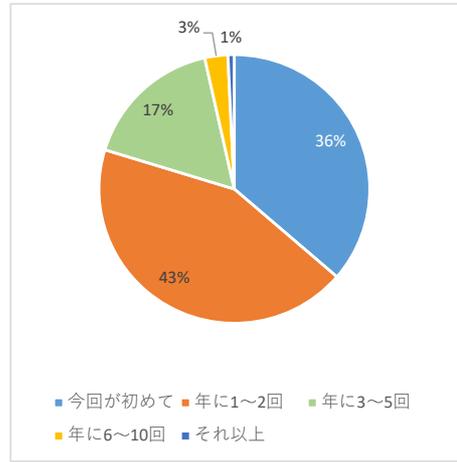
	全体	396
20代	82	21%
30代	128	32%
40代	137	35%
50代	31	8%
60代	18	4.5%
70代以上	0	0.0%



4 自然の村の利用頻度

N=400：複数回答（件）

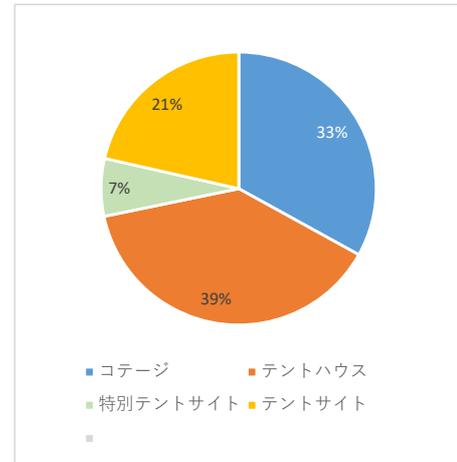
	全体	399
今回が初めて	145	36%
年に1~2回	173	43%
年に3~5回	67	17%
年に6~10回	11	3%
それ以上	3	1%



5 今回利用した施設

N=400：単数回答（件）

	全体	396
コテージ	131	33%
テントハウス	153	39%
特別テントサイト	27	7%
テントサイト	85	21%

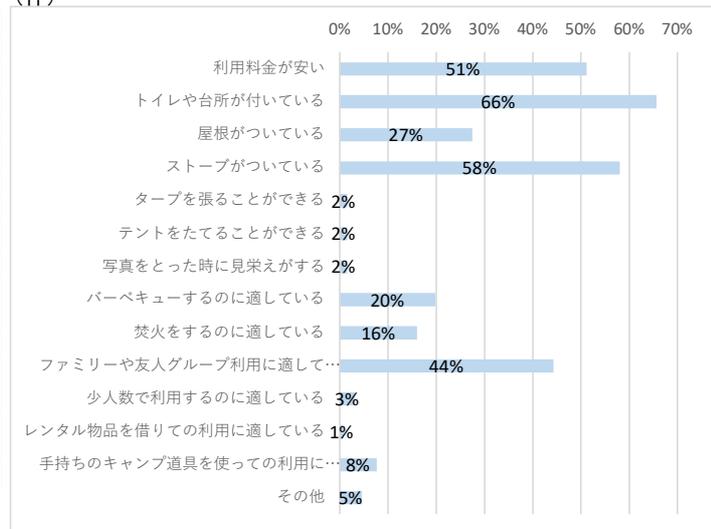


6 今回の施設を選んだ理由（上位3つ）

①コテージ利用者

N=131：複数回答（件）

	全体	131
利用料金が安い	67	51%
トイレや台所が付いている	86	66%
屋根が付いている	36	27%
ストーブが付いている	76	58%
タープを張ることができる	2	2%
テントをたてることができる	2	2%
写真をとった時に見栄えがする	2	2%
バーベキューするのに適している	26	20%
焚火をするのに適している	21	16%
ファミリーや友人グループ利用に適している	58	44%
少人数で利用するのに適している	4	3%
レンタル物品を借りての利用に適している	1	1%
手持ちのキャンプ道具を使っての利用に適している	10	8%
その他	6	5%



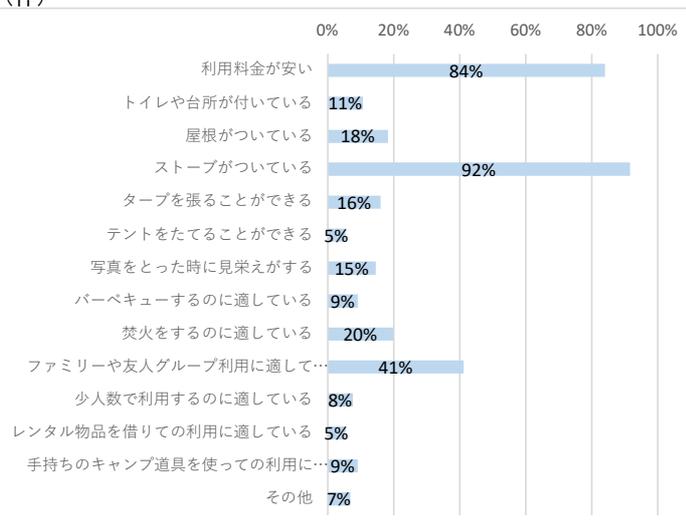
【その他回答】

- ・いつもはサイトやテントハウスを使っているから
- ・虫を防げるから
- ・冬場は寒さをしのげるから

②テントハウス利用者

N=153：複数回答（件）

	全体	153
利用料金が安い	110	84%
トイレや台所が付いている	14	11%
屋根がついている	24	18%
ストーブがついている	120	92%
タープを張ることができる	21	16%
テントをたてることができる	7	5%
写真をとった時に見栄えがする	19	15%
バーベキューするのに適している	12	9%
焚火をするのに適している	26	20%
ファミリーや友人グループ利用に適している	54	41%
少人数で利用するのに適している	10	8%
レンタル物品を借りての利用に適している	7	5%
手持ちのキャンプ道具を使っでの利用に適している	12	9%
その他	9	7%



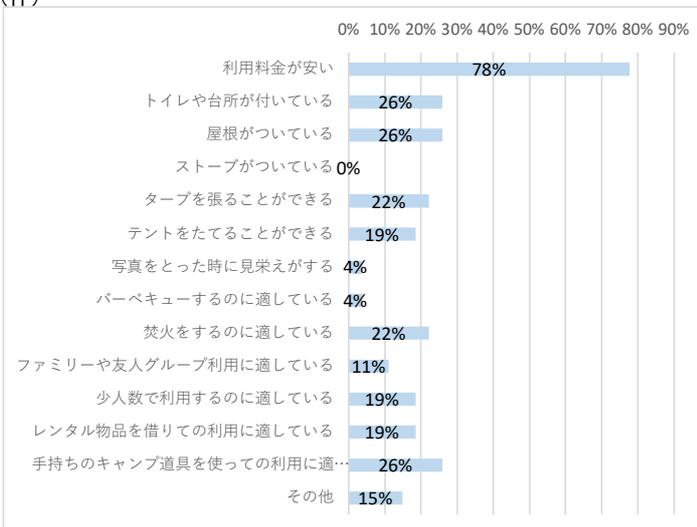
【その他回答】

- ・いつもはテントサイトを使用するが、気分をかえて手軽に楽しめたかった
- ・テントハウスのデザインがかわいい
- ・夫が大絶賛していたから

③特別テントサイト利用者

N=27：複数回答（件）

	全体	27
利用料金が安い	21	78%
トイレや台所が付いている	7	26%
屋根がついている	7	26%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	6	22%
テントをたてることができる	5	19%
写真をとった時に見栄えがする	1	4%
バーベキューするのに適している	1	4%
焚火をするのに適している	6	22%
ファミリーや友人グループ利用に適している	3	11%
少人数で利用するのに適している	5	19%
レンタル物品を借りての利用に適している	5	19%
手持ちのキャンプ道具を使っでの利用に適している	7	26%
その他	4	15%



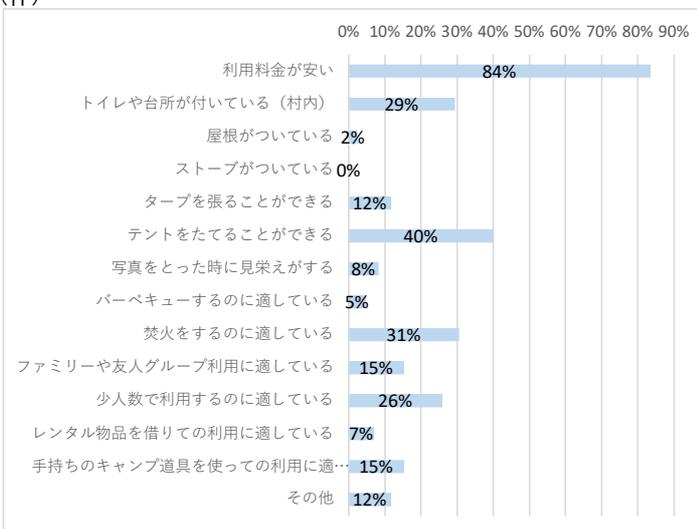
【その他回答】

- ・小屋がついている
- ・ユーチューブを見て

④テントサイト利用者

N=85：複数回答（件）

	全体	85
利用料金が安い	71	84%
トイレや台所が付いている（村内）	25	29%
屋根がついている	2	2%
ストーブがついている	0	0%
タープを張ることができる	10	12%
テントをたてることができる	34	40%
写真をとった時に見栄えがする	7	8%
バーベキューするのに適している	4	5%
焚火をするのに適している	26	31%
ファミリーや友人グループ利用に適している	13	15%
少人数で利用するのに適している	22	26%
レンタル物品を借りての利用に適している	6	7%
手持ちのキャンプ道具を使っでの利用に適している	13	15%
その他	10	12%



【その他回答】

- ・隣とのテント間が広い ヒグマ対策
- ・静か
- ・綺麗
- ・冬にキャンプがしたかった

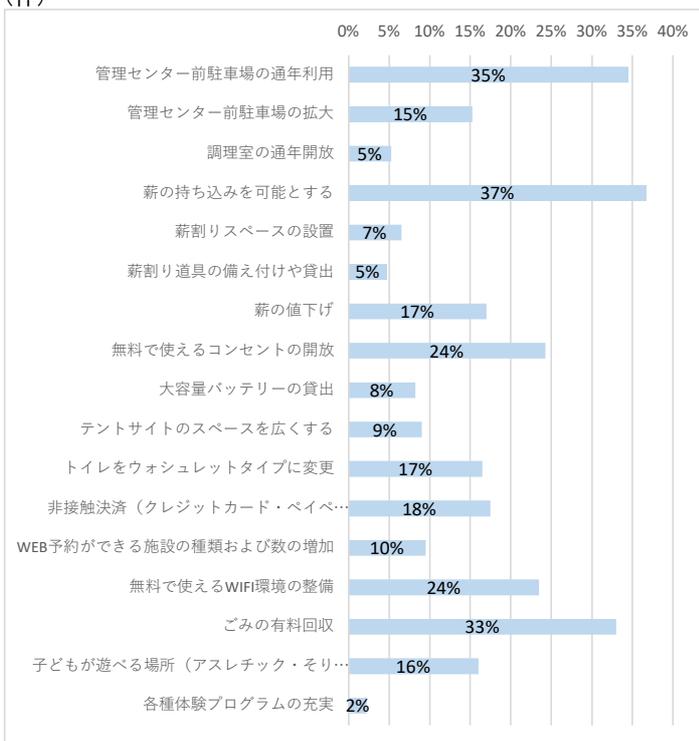
7 定山溪自然の村に望むサービス（上位3つ）

N=400：複数回答（件）

	全体	400
管理センター前駐車場の通年利用	138	35%
管理センター前駐車場の拡大	61	15%
調理室の通年開放	21	5%
薪の持ち込みを可能とする	147	37%
薪割りスペースの設置	26	7%
薪割り道具の備え付けや貸出	19	5%
薪の値下げ	68	17%
無料で使えるコンセントの開放	97	24%
大容量バッテリーの貸出	33	8%
テントサイトのスペースを広くする	36	9%
トイレをウォッシュレットタイプに変更	66	17%
非接触決済（クレジットカード・ペイペイ・IDなど）の導入	70	18%
WEB予約ができる施設の種類の増加	38	10%
無料で使えるWIFI環境の整備	94	24%
ごみの有料回収	132	33%
子どもが遊べる場所（アスレチック・そり坂等）の充実	64	16%
各種体験プログラムの充実	9	2%
その他	21	5%

【その他回答】

- ・ 特別テントサイトに暖房を追加
- ・ グループで楽しめる程度の音量で音楽をOKにして欲しい
- ・ ゴみの無料回収
- ・ コテージ、サイトへの車の横づけ
- ・ 薪を拾っても良いようにして欲しい
- ・ 使用時間の拡大
- ・ ソロ専用の静かなエリア



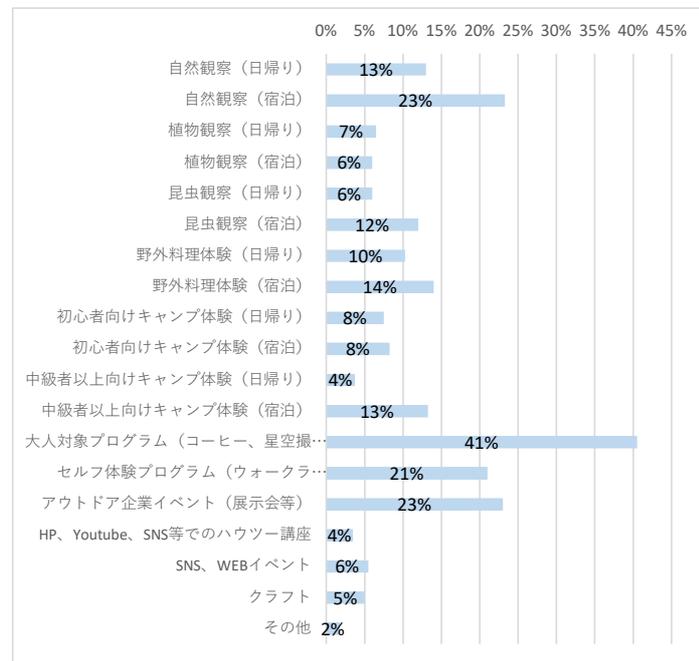
8 今後、定山溪自然の村で実施して欲しいプログラム（上位3つ）

N=400：複数回答（件）

	全体	400
自然観察（日帰り）	52	13%
自然観察（宿泊）	93	23%
植物観察（日帰り）	26	7%
植物観察（宿泊）	24	6%
昆虫観察（日帰り）	24	6%
昆虫観察（宿泊）	48	12%
野外料理体験（日帰り）	41	10%
野外料理体験（宿泊）	56	14%
初心者向けキャンプ体験（日帰り）	30	8%
初心者向けキャンプ体験（宿泊）	33	8%
中級者以上向けキャンプ体験（日帰り）	15	4%
中級者以上向けキャンプ体験（宿泊）	53	13%
大人対象プログラム（コーヒー、星空撮影等）	162	41%
セルフ体験プログラム（ウォークラリー、スノーシュー等）	84	21%
アウトドア企業イベント（展示会等）	92	23%
HP、Youtube、SNS等でのハウツー講座	14	4%
SNS、WEBイベント	22	6%
クラフト	20	5%
その他	7	2%

【その他回答】

- ・ こども向けイベント
- ・ 音楽会
- ・ 各キャンプ体験
- ・ 冬キャンプのノウハウ
- ・ 動物観察
- ・ 釣り



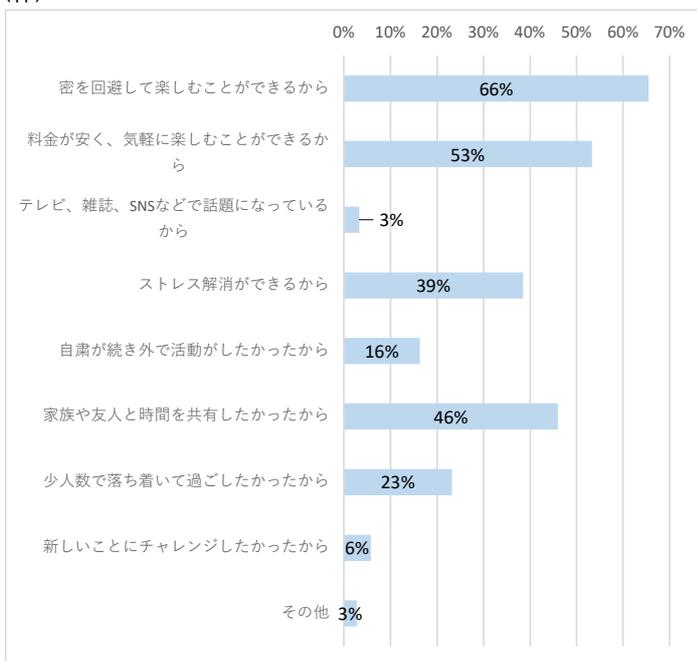
9 コロナ禍のレジャーの中で、キャンプを選んだ理由（上位3つ）

N=400：複数回答（件）

	全体	400
密を回避して楽しむことができるから	262	66%
料金が安く、気軽に楽しむことができるから	213	53%
テレビ、雑誌、SNSなどで話題になっているから	13	3%
ストレス解消ができるから	154	39%
自粛が続き外で活動がしたかったから	65	16%
家族や友人と時間を共有したかったから	184	46%
少人数で落ち着いて過ごしたかったから	93	23%
新しいことにチャレンジしたかったから	23	6%
その他	11	3%

【その他回答】

- ・コロナ前からキャンプをもともとやっていた
- ・焚き火をしたかった



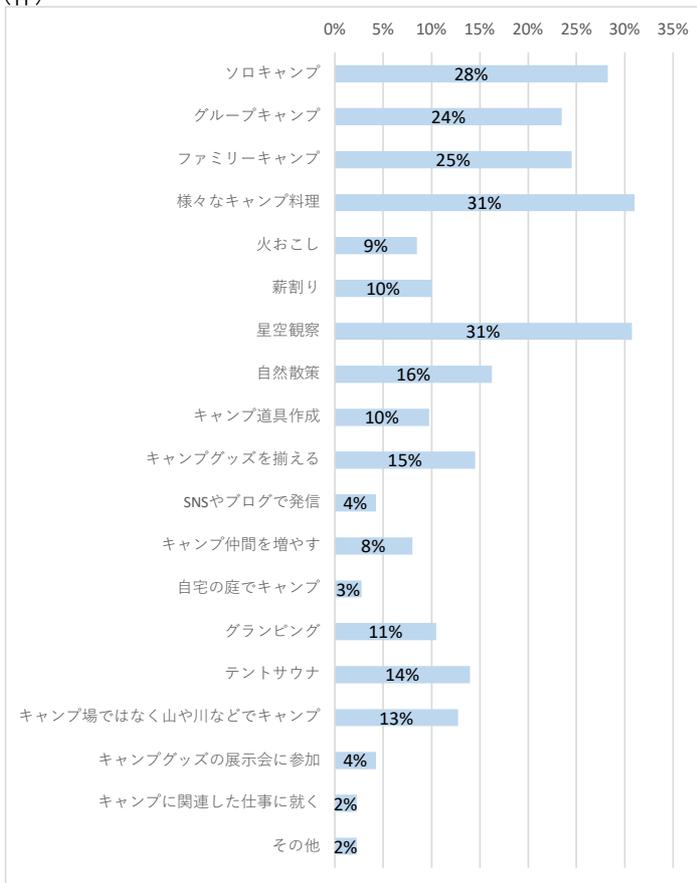
10 今後キャンプを続けていく中でやってみたい事（上位3つ）

N=400：複数回答（件）

	全体	400
ソロキャンプ	113	28%
グループキャンプ	94	24%
ファミリーキャンプ	98	25%
様々なキャンプ料理	124	31%
火おこし	34	9%
薪割り	40	10%
星空観察	123	31%
自然散策	65	16%
キャンプ道具作成	39	10%
キャンプグッズを揃える	58	15%
SNSやブログで発信	17	4%
キャンプ仲間を増やす	32	8%
自宅の庭でキャンプ	11	3%
グランピング	42	11%
テントサウナ	56	14%
キャンプ場ではなく山や川などでキャンプ	51	13%
キャンプグッズの展示会に参加	17	4%
キャンプに関連した仕事に就く	9	2%
その他	9	2%

【その他回答】

- ・釣り ・薪ストーブ ・バードウォッチング
- ・カヌー ・他グループとのコミュニケーション
- ・昆虫採取 ・山を買う ・キャンプ場を作る

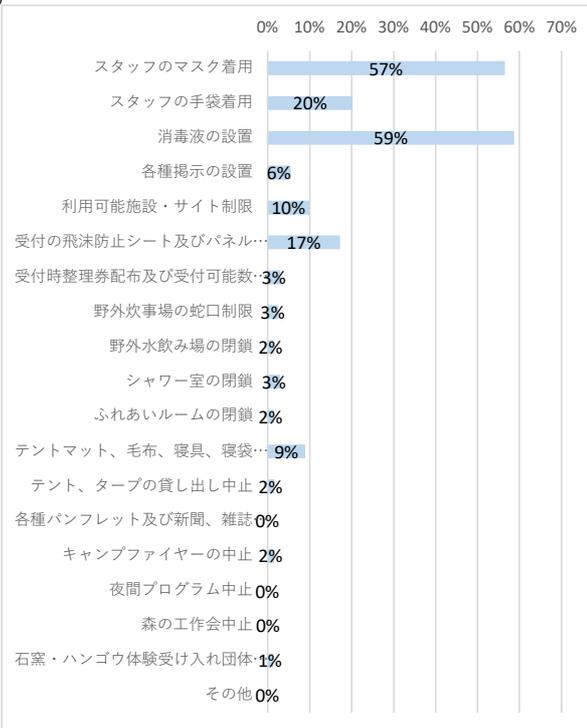


11 新型コロナウイルス拡大防止策について

【継続した方が良いと思う対策】

N=400：複数回答（件）

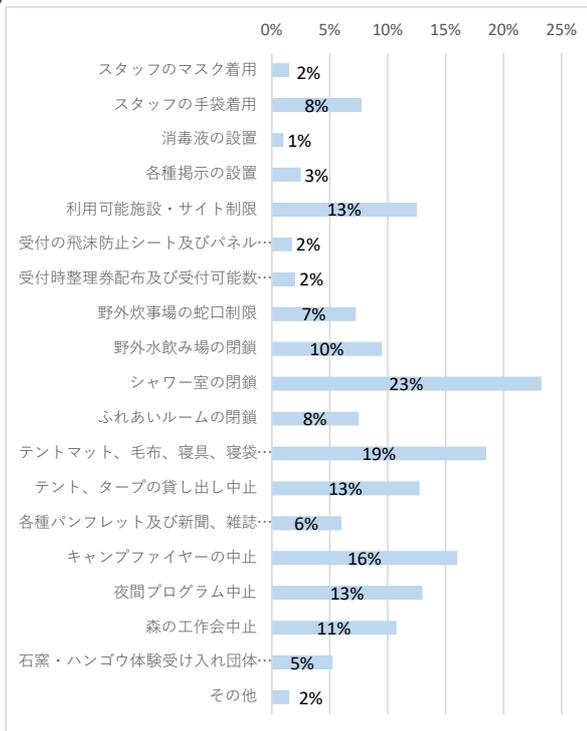
	全体	400
スタッフのマスク着用	226	57%
スタッフの手袋着用	81	20%
消毒液の設置	235	59%
各種掲示の設置	22	6%
利用可能施設・サイト制限	40	10%
受付の飛沫防止シート及びパネル設置	69	17%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	12	3%
野外炊事場の蛇口制限	10	3%
野外水飲み場の閉鎖	6	2%
シャワー室の閉鎖	12	3%
ふれあいルームの閉鎖	6	2%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	36	9%
テント、タープの貸し出し中止	6	2%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	0	0%
キャンプファイヤーの中止	6	2%
夜間プログラム中止	0	0%
森の工作会中止	1	0%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	5	1%
その他	0	0%



【止めても良いと思う対策】

N=400：複数回答（件）

	全体	400
スタッフのマスク着用	6	2%
スタッフの手袋着用	31	8%
消毒液の設置	4	1%
各種掲示の設置	10	3%
利用可能施設・サイト制限	50	13%
受付の飛沫防止シート及びパネル設置	7	2%
受付時整理券配布及び受付可能数の制限	8	2%
野外炊事場の蛇口制限	29	7%
野外水飲み場の閉鎖	38	10%
シャワー室の閉鎖	93	23%
ふれあいルームの閉鎖	30	8%
テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	74	19%
テント、タープの貸し出し中止	51	13%
各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	24	6%
キャンプファイヤーの中止	64	16%
夜間プログラム中止	52	13%
森の工作会中止	43	11%
石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	21	5%
その他	6	2%



【その他回答】

- ・スタッフマスク着用以外全て解除しても良いと思う
- ・全てもとに戻して良いと思う
- ・止めても良いと思う対策はない